

平成20年11月14日

各位

上場会社名 太平電業株式会社
 代表者 代表取締役社長 平塚 卓
 (コード番号 1968)
 問合せ先責任者 取締役総務統括 光富 勉
 (TEL 03-5213-7211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,300	2,130	2,250	1,270	29.68
今回発表予想(B)	36,336	4,166	4,368	2,309	53.98
増減額(B-A)	1,036	2,036	2,118	1,039	——
増減率(%)	2.9	95.6	94.1	81.8	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	31,938	2,951	3,126	1,710	39.97

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	66,100	4,500	4,670	2,610	61.00
今回発表予想(B)	71,400	6,120	6,360	3,360	78.55
増減額(B-A)	5,300	1,620	1,690	750	——
増減率(%)	8.0	36.0	36.2	28.7	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	66,294	5,987	6,052	2,974	69.51

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,700	1,940	2,060	1,130	26.40
今回発表予想(B)	35,452	3,982	4,164	2,247	52.53
増減額(B-A)	752	2,042	2,104	1,117	——
増減率(%)	2.2	105.3	102.1	98.9	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	31,254	2,785	2,946	1,631	38.11

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	64,900	4,190	4,380	2,400	56.08
今回発表予想(B)	69,600	5,800	6,000	3,250	75.97
増減額(B-A)	4,700	1,610	1,620	850	——
増減率(%)	7.2	38.4	37.0	35.4	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	64,790	5,579	5,644	2,841	66.40

修正の理由

当第2四半期累計期間(連結・個別)の業績は事業用火力・製鉄関連の建設およびメンテナンス工事が順調に推移し、当初予定に比べて連結売上高は2.9%増加の36,336百万円、個別売上高も2.2%増加の35,452百万円となる見通しです。

利益につきましては、工事着工から完了に至るまで原価低減を推進したことと、メンテナンス工事が大きく伸びたことにより連結四半期純利益は81.8%増加の2,309百万円、個別四半期純利益は98.9%増加の2,247百万円となる見込みで、当初の予想を上回る結果となりました。

通期(連結・個別)の業績予想におきましては発電用重電機器の生産動向は概ね順調に推移すると予想されており、また原子力発電所の耐震設計強化工事も順次実施が予定され堅調に推移すると予想しており、通期の連結売上高は8.0%増加の71,400百万円、個別売上高は7.2%増加の69,600百万円となる見込みであります。

利益につきましては、今後電力会社はじめ各企業のコスト削減の取組みによる受注金額の低価格化が懸念され、また建設資材の高騰と景気失速の影響が不透明であり、通期連結の当期純利益は28.7%増加の3,360百万円、個別の当期純利益は35.4%増加の3,250百万円を見込んでおります。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上